

学校教育目標	相手の考えや気持ちを大切に、互いに高め合う浜の子 ～見つめ合い・伝え合い・高め合い～ ○「問い」を大切に、友達との対話的な学びを通して考えを深めながら、意欲的に学びに向かう力を育てます。(知) ○人とのかかわりを大切に、コミュニケーション力を高めながら、自他を大切にすることを育てます。(徳) ○健康で安全な生活について自ら考え、健康な心と体、生活習慣を創ろうとする態度を育てます。(体) ○まちと進んでかかわり、まちへの愛着を育みながら、地域や社会のために働きかけようとする力を育てます。(公) ○様々な人とのかかわりやコミュニケーションを通して、広い視野をもち、ともに生きていく力を育てます。(開)					
	学校概要	創立 82 周年	学校長 丹波 悟亮	副校長 花本 敏夫	2 学期制	一般学級: 19 個別支援学級: 4
児童生徒数: 622 人		主な関係校: 汐見台中学校、汐見台小学校、山王台小学校				

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	汐見台中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける育成を目指す資質・能力を踏まえた「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
〈コミュニケーション能力〉 〈協働して課題解決していく力〉	汐見台中学校 浜小学校 山王台小学校 汐見台小学校	○自らの可能性を追求し、主体的に考え、行動する子ども ○互いの心を大切に、学び合い、高める子ども ・「コミュニケーション能力の育成」をブロック授業研のテーマとして設定し、各教科においてテーマを意識した授業を展開する。(ブロックで年2回6月、9月) ・ブロック教務主任会(8月、1月)では、取組の成果の検討や児童生徒指導についての情報交換、資質・能力についての相互評価の機会とする。 ・児童生徒交流日に、6年生が参加する体験授業を工夫して行う。

中期取組目標	○「多様性の尊重を」をキーワードに、子ども一人ひとりの思いを捉え、個性を活かし伸ばす豊かな学びを充実させます。 ・人権尊重の精神の基盤に立った教育活動を推進し、自尊感情を高め、自他を大切にしながら高め合う学びを実現します。 ・子どもの問いを大切に「できた」「わかった」が実感できる授業づくり、まちや人との関りを大切に豊かな学びを推進します。 ・それぞれの子どもが持つ教育的ニーズを捉え、それに応える支援体制を構築し、「支援教育」を推進します。 ・幼稚園・保育園と連携してスタートカリキュラムを充実させ、安心して自己発揮し、学び合いをつないでいきます。
--------	---

重点取組分野	具体的取組
知 生きてはたらく知	①一人ひとりが主体的に取り組み、学びに向かう力を育成するために、自尊感情を高める授業、学習のプロセスを大切に授業、子どもの思いや問いを大切に授業の充実を図る。また、スタートカリを推進する。②算数科を重点研とし、協働的な探究学習の充実を目指す。
担当 教務、重点研、入学委	
徳 豊かな心	①道徳の授業、評価の充実を図り、多面的な見方・考え方を広げる資質・能力を育成する。②たてわり活動など様々な交流活動を充実させ、人とかかわる楽しさや喜びを味わうとともに、自他の良さを思いやりや感謝の気持ちを育む。③まちの人とかかわる体験的な学習を通して探究心やコミュニケーション能力を育む。
担当 道徳、特活、生活・総合	
体 健やかな心と体	①あいさつ運動を推進し、進んで挨拶をすることにより相手を認め、自他を大切にすることを育てる。②浜スポタイム等を通じ、運動に対する親しみと意欲を高め、体力の向上を図る。③全校児童参加の学校保健委員会を通して、けがの予防等、一人ひとりが自覚的に心や体の健康について考え、実践できるようにする。
担当 体育、養護、人権、児童指導	
公開 地域連携	①あいさつ運動を推進し、進んで挨拶をすることにより相手を認め、自他を大切にすることを育てる。②浜スポタイム等を通じ、運動に対する親しみと意欲を高め、体力の向上を図る。③全校児童参加の学校保健委員会を通して、けがの予防等、一人ひとりが自覚的に心や体の健康について考え、実践できるようにする。
担当 PTA担当、副校長、教務	
いじめへの対応	①月1回及び随時開催するいじめ防止対策委員会により、認知された事案や諸課題について情報を共有し、未然防止・再発防止を徹底する。②いじめ防止研修等によりいじめ防止に対するスキルを向上させる③YPアセスメントを活用し、児童理解や児童指導を進め、だれもが、安心して、豊かに学ぶあたたかな学級風土を育てる。
担当 人権、児童指導	
人材育成・組織運営(働き方)	①各自のステージに応じた研修に計画的に取り組み資質・能力の向上を図る。メンターチームを活用し、特に経験の浅い教職員の育成を進める。②それぞれの職責を自律的に責任をもって遂行しつつ、「連携と共有」を合言葉に組織的學校経営を推進する。③業務の効率化・教職員の意識改革を進める。
担当 教務、メンターチーム	
支援教育	①複合的な特別支援教室を開設し、学習支援、登校渋りなどの児童の支援、日本語支援など様々なニーズに対応していく。②特別支援コーディネーター・専任・全教職員で連携し、一人ひとりの教育的ニーズを捉え、それに応える支援体制を構築し支援を推進していく。
担当 特別支援、特別支援Co	
児童理解	①困った子ではなく「困っている子」という児童理解を職員全体で共通理解し、特別支援教育と連動して指導を行う。②児童指導全体計画を作成し、幼保小連携、スタートカリ、生活・総合を軸とした主体的な学びと自己有用感の醸成を図る。コーチング等、外部機関とも連携して児童理解に努める。
担当 児童指導	
自分づくり教育	①生活科「横浜の時間」を中心に、身近な人やまちとかかわりながら体験的に学ぶ機会を一層充実させ、他者とかかわりの中で自己有用感を高めるようにする。②個性を尊重し、思いや願い感じたことや考えたことを素直に表現できる学級風土を作るようにする。
担当 教務、生活・総合	
スタートカリキュラム	①幼稚園・保育園と連携して入学前の引継ぎを緊密に行い、スタートカリキュラムの充実に活かす。②スタートカリキュラムを6年間のスタートと位置付け、安心して楽しく学べる小学校生活のスタートが図れるよう児童を支援する。
担当 教務、入学委	